

第4回臨時会議事日程（第2号）

- 第 1 予算議案第3号 令和4年度いちき串木野市一般会計補正予算（第3号）
（予算議案第3号 令和4年度いちき串木野市一般会計補正予算（第3号）に対する修正案）
-

本日の会議に付した事件
議事日程に同じ

本会議第2号（8月1日）（月曜）

出席議員 14名

2番	田畑和彦君	10番	東育代君
3番	高木章次君	11番	中里純人君
4番	江口祥子君	12番	竹之内勉君
5番	吉留良三君	13番	下迫田良信君
6番	松崎幹夫君	14番	原口政敏君
7番	田中和矢君	15番	福田清宏君
8番	中村敏彦君	16番	濱田尚君

欠席議員 2名

1番	西田憲智君	9番	大六野一美君
----	-------	----	--------

職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

局	長	岡田錦也君	主	査	岩下麻衣君
補	佐	石元謙吾君	主	査	福谷和也君

説明のため出席した者の職氏名

市	長	中屋謙治君	企画政策課長	北山修君
副市	長	出水喜三彦君	財政課長	宮口吉次君
教育	長	相良一洋君	教育総務課長	瀬川大君
総務課	長	山崎達治君	消防長	谷口浩貴君

令和4年8月1日午前10時00分開会

△開 議

○議長（濱田 尚君） これから本日の会議を開きます。

△報 告

○議長（濱田 尚君） まず、報告します。

監査委員から報告のあった令和4年度6月分の例月出納検査の結果について、お手元に配付してあります。

△日程第1 予算議案第3号

○議長（濱田 尚君） 日程第1、予算議案第3号を議題とします。

初めに、総務厚生委員長の報告を求めます。

[総務厚生委員長福田清宏君登壇]

○総務厚生委員長（福田清宏君） 私ども総務厚生委員会に付託されました案件は、予算議案1件であります。

去る7月28日に委員会を開催し、審査が終了しましたので、その審査経過の概要と結果について御報告申し上げます。

予算議案第3号令和4年度いちき串木野市一般会計補正予算（第3号）中、委員会付託分についてであります。

本案は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億5,456万2,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ170億1,365万9,000円とするものであります。

それでは、まず歳入の主なるものについて申し上げます。

14款国庫支出金2項1目総務費国庫補助金、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金1億4,600万2,000円は、コロナ禍における原油価格、物価高騰対応分が令和4年度、新たに交付されることに伴う追加計上であります。

18款繰入金1項3目ふるさと寄附金基金繰入金は、6,800万円の追加であります。

次に、歳出について申し上げます。

3款民生費2項2目児童運営費の保育所等給食支援事業528万2,000円は、コロナ禍において物価高騰等に直面する子育て世帯の経済的負担の軽減を図るとともに、栄養バランスや量を保った従前どおりの給食等の実施が確保されるよう、保育所等に対して必要な支援を行うものであります。

説明によりますと、市内の保育園7園、認定こども園2園に対し、児童1人当たり主食費を月額300円、副食費を月額450円、主食と副食費の両方で750円の補助をする。3歳以上の児童については、ほとんどの園が副食費のみを提供しており、延べ人数を5,240人と見込み、3歳未満の児童と3歳以上の一部の児童については、主食費と副食費の両方を提供しており、延べ人数を3,684人と見込んでいるとことでもあります。

審査の中で、物価上昇率を10%と見込んだとのことだが、現状としてはどの程度上がっていると捉えているのかと質したところ、鹿児島県が民間調査会社による食品価格改定の動向調査、保育所等へのヒアリングを実施して、物価上昇率を10%と見込んでいる。本市も保育所に確認したところ、油代などが10%程度上がっているとの答弁であります。

また、幼稚園や認可外施設に対する補助はどのようになるのかと質したところ、市を通さずに県が直接補助するとの答弁であります。さらに、何月分から補助を行うのかと質したところ、4月から物価が上がっているため、4月分から遡って支給するとの答弁であります。

本案は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で総務厚生委員会に付託されました案件について、審査経過の概要と結果についての報告を終わります。

○議長（濱田 尚君） これから、総務厚生委員長の報告に対する質疑に入ります。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱田 尚君） 質疑なしと認めます。

討論・採決については、2常任委員長の報告に対

する質疑を終結するまで保留しますので、御了承願います。

次に、産業教育委員長の報告を求めます。

[産業教育委員長吉留良三君登壇]

○産業教育委員長（吉留良三君） 報告いたします。

私ども産業教育委員会に付託されました案件は、予算議案1件であります。

去る7月27日に委員会を開催し、審査が終了しましたので、その審査結果の概要と結果について御報告申し上げます。

まず、予算議案第3号令和4年度いちき串木野市一般会計補正予算（第3号）中、委員会付託分についてであります。

6款農林水産業費の農業振興費は、持続可能な環境保全型農業推進事業75万円と、農業用軽油価格高騰対策事業150万円の計上であります。

説明によりますと、持続可能な環境保全型農業推進事業は、肥料価格が高騰する中、化学肥料や農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した環境保全型農業を推進するため、農家や集落営農組織等が市内の堆肥業者から堆肥を購入した際に購入費用の一部を補助するものであり、補助率は購入経費の2分の1以内で、活用を見込む品種はカボチャ、レタス、大麦、果樹などとのことであります。

審査の中で、市内の堆肥製造業者の数について質したところ、主に畜産農家、肥育牛、養鶏などの農家が7業者あり、その中にさつま日置農協も含んでいるとの答弁であります。

また、農業用軽油価格高騰対策事業は、燃油価格が高騰する中、農作物の生産活動をサポートするため、市内の農家や農業法人等が農業用に利用する軽油購入経費の一部を補助するものであります。補助対象者は農業用に使用する軽油引取税の免税を受けている市内29戸の農家と、5年以内の新規就農者5名とのことであります。

審査の中で、農業用軽油価格高騰対策事業と商工費の原油価格・物価高騰対策緊急支援事業は重複して申請が可能かと質したところ、利用者が有利となるほうの支援策を活用していただき、重複しない対応で補助するとの答弁であります。

同じく農林水産業費の水産業振興費は、漁業者への燃油価格高騰緊急対策支援事業3,664万6,000円の計上であります。

説明によりますと、原油価格の高騰により大きな影響を受ける漁業者への支援として、漁業経営セーフティネット制度への加入、継続のために積み立てる漁業者負担金分の資金の一部を支援するものであります。補助対象者は本市に船籍を置く遠洋マグロ漁船24隻分と沿岸漁船28隻分を見込んでいるとのことであります。

7款商工費の商工振興費は、笑顔あふれるプレミアム付商品券事業8,974万5,000円の追加と、原油価格・物価高騰対策緊急支援事業1億1,383万6,000円の計上であります。

説明によりますと、笑顔あふれるプレミアム付商品券事業の追加は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により売上げが減少し、経営に苦慮している市内事業所の事業継続、経営安定を支援するとともに、直面する物価高騰による市民生活への影響の継続的な緩和を目的に、市独自のプレミアム付商品券を追加で発行し、切れ目のない個人消費の下支えを行うものであります。

商品券は前回同様、プレミアム率100%で、販売価格は一枚500円の10枚つづりで額面5,000円を2,500円で購入でき、今回は市民1人当たり1冊の購入となります。また、マイナンバーカードの普及促進のため、令和4年2月1日以降のマイナンバーカード新規取得者については、追加で2冊購入が可能。中小取扱店と大型店の使用割合は6対4と前回同様で、利用期間は購入日から令和5年1月31日までとのことであります。

審査の中で、高齢で商品券を買いに行けない、あるいは年金生活の方で原資がなくて購入できないという声もあり、買える人だけが買うというのは不公平感がある。購入ではなく商品券を配付する考えはないかと質したところ、高齢で買いに行けない方については地域を回って購入いただける体制を整えている。商品券の購入に当たっては販売価格を1冊5,000円から1冊2,500円と買い求めやすいようにしている。また、物価高騰等で生活が苦しい世帯に対

する支援として、住民税非課税世帯等への臨時特別給付金1世帯10万円などが出されたタイミングでもあるので、購入していただくことでプレミアム率100%分も活用することができ、さらには事業者への支援もできると考える。商品券を無料配付にすると事業効果が半減する。このプレミアム付商品券であれば、既に仕組みが整っていることから速やかに事業実施ができ、市民生活の切れ目のない支援につながると考えるとの答弁であります。

また、マイナンバーカードはマイナポイントを国でもかなりPRしており、あえて市としてここまでする必要あるのかと質したところ、マイナンバーカードは社会全体でデジタル改革を進める上で交付率を高めることが非常に重要となってくる。国はデジタル田園都市国家構想の推進を踏まえ、地方交付税の算定に当たってマイナンバーカードの自治体ごとの交付率も反映させる方針の検討に入るタイミングでもあり、本市としても交付率をもう一段階上げる必要があると考えているとの答弁であります。

その他委員から、マイナンバーカードを促進するために、直接ではないが、ふるさと寄附金基金も取り崩している。このような方法で簡単に基金を取り崩すのではなく、交付率を上げるために担当者が機会あるごとに地域に出向き取得を促すなど、地道な努力も必要との意見が述べられたのであります。

また、原油価格・物価高騰対策緊急支援事業はエネルギー価格、原材料価格が高騰する中、経営に苦慮している市内事業者の事業継続、経営安定を支援するため、緊急支援給付金を支給するものであります。

給付対象者は約1,200社で、法人については、いちき串木野市内に本社、本店など主たる事業所を置いている全業種の中小企業者、小規模事業者等で、個人事業者については市内に住所を有する者が対象であります。

給付額はエネルギー関係経費の使用実績が3万円以上5万円未満は3万円、5万円以上10万円未満は5万円、10万円以上15万円未満は10万円、15万円以上は15万円で、受付期間は令和4年8月22日から10月21日までとのことであります。

審査の中で、給付額は使用実績の金額によって4通りあるが、何社ずつを見込んでいるのか。また、前年度の使用実績を参考にしてオーバーした分を率で補填するなどを検討しなかったのかと質したところ、3万円以上10万円未満が470社、10万円以上15万円未満が400社、15万円以上が330社を見込んでいる。県内では初めての取組であり、影響が大きいと思われる3万円以上を基準としているとの答弁であります。

また、原油高騰の中、事業者だけでなく多くの市民の方々がマイカーを持っており、ガソリンを使っている。事業者だけの支援ではなく、市民に対しての方策は考えられなかったのかと質したところ、市民向けの物価高騰対策については、今回は基本的にプレミアム付商品券事業で対応を考えているとの答弁であります。

10款教育費の学校給食センター管理費は、学校給食食材価格高騰対策事業680万3,000円の計上であります。

説明によりますと、食品原材料価格が高騰する中、学校給食費を据え置いたまま、これまでどおりの栄養バランスや量を保った学校給食を実施するため、市学校給食会へ食品原材料価格の上昇分を補助し、保護者の負担軽減を図るとのことです。

討論については、笑顔あふれるプレミアム付商品券事業の追加について、マイナンバーカードの新規取得者は、追加で2冊購入できるということだが、マイナンバーカードはプライバシーの侵害や個人情報の漏えい、個人資産の管理に対する不安など、いろいろな理由をもって作らない人もいます。作る人だけにこのような補助を出すのは、不公平感があるとの反対討論が述べられたのであります。

また、原油価格・物価高騰対策緊急支援事業については、公平性の立場からいけば、一部の事業者だけがこの事業の恩恵を受けるのではなく、物価高騰は市民生活に直面する問題であることから、まずは市民個人を対象とした定額給付金のような事業を展開すべき旨の反対討論が述べられたのであります。

本案は、付託分について賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、産業教育委員会に付託されました案件について審査経過の概要と結果についての報告を終わります。

○議長（濱田 尚君） これから、産業教育委員長
の報告に対する質疑に入ります。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱田 尚君） 質疑なしと認めます。

ただいま議題となっている予算議案第3号令和4
年度いちき串木野市一般会計補正予算（第3号）に
対しては、提出者 中里純人議員、東育代議員から
お手元に配付しました修正への動議が提出されてお
ります。

お諮りします。

お手元に配付しました中里純人議員及び東育代議
員提出の修正案につきましては、直ちに本日の日程
第1、予算議案第3号と併せて審議することに御異
議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱田 尚君） 御異議なしと認めます。

したがって、修正案につきましては直ちに本日の
日程第1、予算議案第3号と併せて審議することに
決定しました。

それでは、予算議案第3号令和4年度いちき串木
野市一般会計補正予算（第3号）に対する修正案に
ついて、中里純人議員の趣旨説明を求めます。

〔11番中里純人君登壇〕

○11番（中里純人君） 修正案の趣旨説明をいたし
ます。

笑顔あふれるプレミアム付商品券事業（追加）は、
1セット5,000円の商品券つづりを2,500円で1人1
セット購入することができ、併せてマイナンバーカ
ード新規取得者には追加で1人2セット購入できる
内容です。

国をはじめ、市としてもマイナンバーカードの普
及促進に努めていることは承知していますが、マイ
ナンバーカードの普及促進のために新規取得者に限
ってプレミアム付商品券の額面1万円の発行を行う
ということですが、個人情報の漏えい、プライバシー
の侵害、銀行口座とのひもづけなど、マイナンバ

ー制度に不安を持って意図して取得しない市民から
は、平等性に欠けることから、大いに不満が生じる
ものと思います。

マイナンバーカード取得促進のために大切なふる
さと寄附金基金を取り崩して商品券補助金を出すよ
りも、ころばん体操や高齢者クラブ、地域行事など
に足を運び、マイナンバー制度の趣旨を説明して御
理解いただき、取得率を増やす取組が必要ではない
でしょうか。

したがって、歳出で7款商工費2億358万
1,000円のうち、マイナンバーカードの費用分1,649
万3,000円を減額修正し1億8,708万8,000円に、歳
入の18款繰入金の6,800万円を5,150万7,000円に減
額する修正案を提出するものです。

議員の皆様方の御賛同をいただきますよう、よろ
しくお願いいたします。

○議長（濱田 尚君） これから、ただいまの修正
案についての質疑に入ります。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱田 尚君） 質疑なしと認め、質疑を終
結します。

これから、討論・採決に入ります。

保留いたしておりました予算議案第3号と併せて
同議案の修正案が提出されていますので、原案及び
修正案について一括して討論を行います。

予算議案第3号令和4年度いちき串木野市一般会
計補正予算（第3号）及び修正案について、下迫田
良信議員の発言を許します。

○13番（下迫田良信君） 私は、予算議案第3号令
和4年度いちき串木野市一般会計補正予算（第3号）
について反対の立場で討論をいたします。

去る27日の委員会審査で、私は質疑の冒頭で、今
後もこのような交付金の交付があるのかと質したと
ころ、あるかないかは不確定であり、見通せない
という答弁でありました。仮に今後見込めるとい
うことであれば、次は市民全体を対象とした活用策を望
み、賛成の立場に転じたと思っております。

まず、商工振興費において、先の6月議会で議決
されたばかりのプレミアム付商品券は、今、販売中

であり、改めて追加されるものはいかなるものか。さらに、原油価格・物価高騰緊急支援金は事業者だけに限ったガソリン等の助成であり、市民への対応はどうか。片手落ちであり、疑義を感じます。

今、市民生活の中で1家族2台から3台の車を所有している家庭も多く、事業者だけが高いガソリンを消費しているのではなく、市民も同じ高いガソリンを使っており、併せて食料品等も値上げが続き、台所事情は厳しさを増すばかりであります。

市長は提案理由で、原油・物価高騰に直面している市民、事業者を支援すると言われておりますが、燃油等に限っては事業者のみを優遇し、その助成額は1億1,000万円超であり、市民は対象外にされており、置き去りにされていると言っても過言ではないと存じます。

歳出において農業振興費及び水産振興費については交付金が有効に活用されており、異論はありません。そこで、商工振興費のプレミアム付商品券事業、県支出金を含めた8,974万円と原油・物価高騰緊急支援金1億1,383万円を加算した2億358万円を、市内全戸数1万3,100戸に定額給付金として1戸当たり1万5,000円を公平に給付したほうが歓迎をされ、成果が見込まれるのではないのでしょうか。

令和2年に国が給付した特別定額給付金の10万円にはほど遠いですが、市が独自で1万5,000円給付を実施したとすれば、高齢者をはじめ多くの市民がコロナ感染の第7波で爆発的な感染者が出ている本市の現状を憂いながらも、感染防止を優先し、ささやかであります市民に夢と希望を与えることで、今後、市政運営にも有益なことであると私は推測をいたしております。

いうまでもなく、この交付金の原資は国が税収不足で多くを国債に依存しており、そのツケは私ども国民が背負わなければならないことであり、そのことを勘案すれば、市民が一番恩恵を受けなければならないと思う次第です。

私は、市民の目線で市民のための市政を政治信条といたしておりますことから、今回の予算措置は必ずしも市民のためには万全でなく、欠如いたしておりますが、これまでの当局の御苦勞を考慮すると、

複雑な思いで反対を表明いたします。

結びに、有能な議員の皆様方の寛容な心意気で御理解を賜り、御賛同くださいますようお願い申し上げます。反対討論といたします。

○議長（濱田 尚君） 次に、中里純人議員の発言を許します。

○11番（中里純人君） 私は、予算議案第3号令和4年度いちき串木野市一般会計補正予算（第3号）の7款商工費第1項商工費2目商工振興費、笑顔あふれるプレミアム付商品券事業（追加）について、反対の立場から討論いたします。

本事業は、新型コロナウイルス感染拡大による影響で経営に苦慮している市内事業者を支援するとともに、物価高騰による市民生活の影響を緩和するために、本日8月1日より開始されます笑顔あふれるプレミアム付商品券事業の追加分として切れ目のない個人消費の下支えを行うもので、併せてマイナンバーカードの普及促進のため新規取得者への追加の商品券発行を行うものです。

私は、商品券発行につきましては、本市の事業所にとりまして経営安定につながるもので評価が高い取組と認識しておりますが、市民の皆様からは、プレミアム付商品券はまとまったお金が必要で買えないといった声や、商品券の販売所が遠く、手間がかかることから利用しないというお声をお聞きします。このようなことから、この事業には市民の全世帯が恩恵を受けていない実態があるようです。

今回の事業内容では、市民生活への物価高騰の緩和を挙げられておりますが、全世帯が影響を受けている現状を見ますと、商品券を各世帯に配付することが有効な消費対策ではないのでしょうか。

また、今後は高齢者や低所得者向けに特化した商品券配付事業も考えられます。マイナンバーカードの普及促進のための新規取得者に対する購入優遇策は、マイナンバー制度に不安があり取得しない市民からは不満が生じることとなり、適切な事業とは認められないことから、反対します。

○議長（濱田 尚君） ほかにありませんか。

「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（濱田 尚君） ほかに討論なしと認め、採

決します。

まず、修正案について、起立により採決します。

修正案に賛成の方の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（濱田 尚君） しばらくそのままお立ちください。

起立多数であります。

したがって、修正案は可決されました。

次に、ただいま修正議決した部分を除く原案について、起立採決します。

修正議決した部分を除く部分については、原案のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

もう1回言います。

ただいま修正議決した部分を除く原案について、起立採決をします。

修正議決した部分を除く部分については、原案のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（濱田 尚君） 起立多数であります。

したがって、修正議決した部分を除く部分は、原案のとおり可決されました。

以上で、本日の日程は全て終了しました。

△市長挨拶

○議長（濱田 尚君） この際、市長から発言の申出がありますので、これを許可します。

[市長中屋謙治君登壇]

○市長（中屋謙治君） 先月26日に開会されました市議会臨時会が本日最終日を迎えることとなりました。

本日の最終本会議において慎重に審議の上、一部修正はありましたが、議決していただき、誠にありがとうございました。

本会議並びに委員会において賜りました御意見等につきましては、今後の市政執行の中で十分配慮して対処してまいる所存でございます。

新型コロナウイルス、原油や食料などの物価高騰は今後も予断を許さない状況にあります。まずは議決いただきました各種の原油・物価高騰対策の執行を急ぐとともに、商品券発行事業などを有効に活用

し、市内経済の活性化、市民生活の向上に向けた取組を進めてまいります。

なお、今回マイナンバーカードの取得促進策について御意見がございました。国においては、デジタル社会、キャッシュレス社会の到来を見据え、その基盤となるマイナンバーカードの普及について、今年度末の交付率100%を目指して、マイナポイントの導入などの工夫をしながら、自治体と連携して積極的に取り組んでいるところであります。

本市といたしましても、制度の利点とともに個人情報保護など安全性についても正確な情報を周知し、地域や事業所への出張申請などを通じてマイナンバーカード取得促進につなげてまいりたいと思っております。

議員各位の一層の御指導と市民皆様方の御理解、御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げ、挨拶といたします。

△閉 会

○議長（濱田 尚君） これで、令和4年第4回いちき串木野市議会臨時会を閉会します。

閉会 午前10時36分

地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する

いちき串木野市議会議長

いちき串木野市議会議員

いちき串木野市議会議員